

平成 18 年度 事業実施報告書

1 広報・活性化事業 1,438,557 円

1. ビジョン策定 669,201 円

県、県協会理事、市町村協会及び有識者（計 7 名）から成る「(財)新潟県国際交流協会あり方検討委員会」を設置し、5 回の委員会と協会理事との意見交換及び専門家からの意見聴取を実施して、県協会の今後の役割等について取りまとめて提言を行った。

県協会では、この提言を受けて、中期事業計画（平成 19～21 年度）を策定した。

2. 賛助会員募集 73,614 円

(1) 賛助会員数の推移

(単位：会員数)

	14 年度末	15 年度末	16 年度末	17 年度末	18 年度末
個人	99	85	96	80	60
団体	98	86	86	78	74
計	197	171	182	158	134

(2) 賛助会員へのサービス

賛助会員向けに主に次のサービスを実施した。

個人会員のみ	・ 朱鷺メッセ関係施設等利用割引 (県立万代島美術館割引券利用件数 45 件) (県立近代美術館割引券利用件数 9 件) ほか
--------	--

団体会員のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・研修室の貸出 (160 件) ・国際化推進活動支援助成金の交付 (28 団体、総額 3,166 千円) ・印刷機・紙折機の利用
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・会員カードの配布 ・イベント案内チラシ等の送付 ・国際情報ライブラリーの図書 (53 冊)・ビデオ (5 本)・ CD (1 枚) のソフト、ふれあい地球人ボックス (26 件)、 国旗 (80 件) の貸出 ・インターネット用パソコンの利用 ・協会イベント情報等のメール提供

3. 協会機関誌発行 695,742 円

若者の国際理解を促進し、世界の平和と相互理解の推進を目的とする情報・啓発誌を創刊した。

○発行実績

- ・平成 19 年 2 月 創刊号発行 (50,000 部)

- ・主な配布先

県内の高校生等、賛助会員、民間団体 ほか

2 情報収集・提供事業 4,126,104 円

1. 国際交流情報提供 1,329,270 円

(1) ライブラリー運営

外国文化や国際交流・国際協力、海外留学、在住外国人支援等に必要な各種情報資料（図書、ビデオ、テープ、雑誌、新聞、各種団体刊行物）を整備し、県民の利用に供した。

①蔵書等の状況（平成19年3月末現在）

・ 図書 4,005 冊

分野別：辞書・事典・地図	345
外国紹介（歴史、風俗・習慣、旅行など）	1,189
言語学習（外国語）	215
〃（日本語学習教材）	276
留学情報	61
国際協力、国際交流、儀礼、世界情勢など	293
外国人入国、在留、就労、研修、結婚など	165
日本人論、日本紹介、新潟紹介	298
外国語書籍	223
児童書	281
読み物	208
国際協力プラザ関係書籍類	270

・ 各種団体発行物 523 冊

(財)自治体国際化協会、他都道府県・政令指定都市国際交流協会が作成した調査、会議、フォーラム等の報告書等

・ ビデオ 279 本

開発途上地域でのNGO活動を伝える映像資料等

・ 雑誌 46 誌

おもな雑誌：
世界の動き、外交フォーラム（外務省）
国際協力、クロスロード、スプリングボード（独立行政法人国際協力機構）
国際協力プラザ（(財)国際協力推進協会）
国際人流（(財)入管協会）
グローバル（(財)海外職業訓練協会）
日本語ジャーナル

- ・新聞 日本語 2紙（新潟日報、日経）
外国語 5紙（イズベスチャー、ジャパントイムズ、人民日報、デイリーヨミウリ、東亜日報）
- ・その他の資料 県内外のNGO、全国の国際交流協会機関誌
語学学習用テープ・教材（外国語、日本語）等

②年間貸出実績（貸出しは賛助会員のみ）

- ・図書 53冊
- ・ビデオ 5本
- ・CD 1枚
- ・テープ 1本

(2) PR記事・イベント情報等掲載

- ①新潟NPO協会発行の情報誌「SO-SO3月号」掲載
- ②朱鷺メッセのフリーペーパー「ととときガイド」掲載（年4回）

(3) 国際交流情報提供

県国際交流プラザにて、国際交流・国際協力及び在住外国人支援等に関するちらし、及びアジア諸国の観光パンフレットなどを設置し、県民への情報提供に努めた。

○国際交流プラザ来館者数：年間延べ 40,054 人

（土日・祝祭日の開館日を含む）

2. 多言語ホームページ運営 1,355,512円

県内外の国際交流情報や在住外国人を対象とした生活支援情報等を掲載したホームページ（日、英、中、韓、露の5言語対応）を運営した。なお、外国語ページの運営は、留学生の協力を得て実施した。

3. 年次報告書作成 285,760円

平成17年度の事業についてまとめた年次報告書を作成し、関係機関等に配布した。

4. PR イベント 1,155,562 円

(1) イベント等の開催

県民の国際理解促進のため、県内6会場にてパネル展「勇気の人・杉原千畝～助けられた命のメッセージ～」を開催した。

ホロコーストの歴史を通して命と平和の大切さ、差別と偏見の愚かさを学んでもらうため、6千人の命を助けた日本人外交官杉原千畝のパネルを31～65点程展示。

○上越会場

- ・期間：7月27日（木）～8月13日（日）
- ・場所：上越市民プラザ（上越市）

○新潟会場

- ・期間：8月1日（火）～8月31日（木）
- ・場所：県国際交流プラザ（(財)新潟県国際交流協会内）

○村上会場

- ・期間：9月2日（土）～9月18日（月・祝日）
- ・場所：村上市民ふれあいセンター（村上市）

○三条燕会場

- ・期間：9月9日（土）・10日（日）
- ・場所：三条・燕地域メッセピア1階 体験工房（三条市）

○阿賀野会場

- ・期間：9月22日（金）～10月1日（日）
- ・場所：阿賀野市立図書館（阿賀野市）

○柏崎会場

- ・日時：10月9日（月・祝日）～10月22日（日）
- ・場所：柏崎市民プラザ（柏崎市）

(2) 県国際交流プラザにおける団体等の活動紹介コーナー

今年度は、プラザの機能強化の一環として、新潟県内で国際交流や国際協力に関わる団体等の活動紹介コーナーを設置し、当コーナーを団体等へ貸出し、パネル・写真及び物品（フェアトレード商品・民族衣装など）の展示、又はイベントなどにより各団体等の趣旨・活動を県民にPRした。

○国際交流プラザ貸出件数：90件

3 国際交流推進事業 8,836,034 円

1. 国際交流懇談会等開催 206,968 円

協会の事業を説明するとともに、県内民間団体、市町村、市町村協会との連携を図るため、年度当初に連絡会議を開催した。

○日にち、会場、参加者数

4月23日（日）ホテル日航新潟（新潟市）58名

2. 国際化推進活動支援 6,126,748 円

（1）助成金の交付

市町村、又は県内の民間団体等が実施する地域の国際化を推進する活動に助成金を交付した。（37件、6,004千円）

（2）研修室の貸出

民間団体等の活動を促進するため、研修室の貸出しを行った。

①利用時間：平日、土日、祝日とも9時～21時

②貸出件数：160件

3. 在外県人会活動支援 911,500 円

ブラジル、ホノルル、アルゼンチンの各新潟県人会活動について助成を行った。

団体名	助成額（円）
ブラジル新潟県人会	576,000
ホノルル新潟県人会	207,000
アルゼンチン新潟県人会	115,000
合計	898,000

4. 国際ボランティアバンク運営 578,033 円

国際交流活動への県民の主体的・能動的な参加を促すため、ボランティアバンクの活用を図った。

(1) ボランティア登録状況（平成 19 年 3 月末現在）

- ①通訳・翻訳者 110 名（うち在住外国人 10 名）
- ②事業協力（アースサポーター） 34 名

(2) ボランティアの申込件数及び紹介人数

	平成 17 年度	平成 18 年度
通訳・翻訳	9 件（6 名）	13 件（17 名）
事業協力（アースサポーター）	2 件（1 名）	7 件（11 名）

(3) コーディネータースタッフの設置

ボランティアバンクの円滑な運営と有効活用を図るため、専任コーディネータースタッフを設置した。

(4) 研修会

①第 1 回 ボランティアセミナー

- ・日にち：10 月 28 日（土）
- ・会場：協会研修室
- ・参加者：17 名
- ・内容：講演「国際交流・協力ボランティアに求められる！異文化コミュニケーション～国際ワークキャンプを事例に考えよう！」
- ・講師：沖野道子（NICE 日本国際ワークキャンプセンター）

②第 2 回 語学講座

A. 英語医療通訳講座

- ・日にち：11 月 19 日（日）
- ・会場：朱鷺メッセ会議室
- ・参加者：25 名

- ・内容：講義、シミュレーション など

- ・講師：森田直美（MICかながわ）

B. 英語で新潟を紹介しよう

- ・日にち：11月19日（日）

- ・会場：朱鷺メッセ会議室

- ・参加者：13名

- ・講師：エロル・パッカード（新潟県国際交流員）

C. 韓国語で新潟を紹介しよう

- ・日にち：12月17日（日）

- ・会場：協会研修室

- ・参加者：6名

- ・講師：張鉉洙（新潟県国際交流員）

5. 共催事業 908,650円

全県域的な国際交流・国際協力の推進に貢献する先駆的、先導的な事業について、共催者として事業実施を支援した。

(1) 「新潟オランダ祭り 2006」

- ・日にち：4月22日（土）・23日（日）

- ・会場：ホテルオークラ新潟 ほか（新潟市）

- ・内容：講演会・イベント ほか

- ・参加者：延べ520名

- ・主催：新潟オランダ祭り 2006 実行委員会

(2) 「新潟県文化振興財団設立 25周年記念事業・文化講演会」

- ・日にち：5月27日（土）

- ・会場：朱鷺メッセ

- ・内容：講演会「こころをつなぐ日中文化交流」

- ・講師：劉徳有（中国対外文化交流協会常務副会長）
- ・参加者：延べ 427 名
- ・主催：(財)新潟県文化振興財団

(3) 「2006 国際水彩画大会 in Niigata」

- ・期間：6月3日（土）～7月9日（日）
- ・会場：新潟市・長岡市・佐渡市（合同写生研修会）、県民会館・アミューズメント佐渡（国際現代水彩画秀作展）
- ・内容：世界的に活躍している著名な画家を招聘し、市民参加型の合同写生大会を開催するとともに、著名水彩画家による大作展を開催した。
- ・参加者：合同写生研修会(285名、うち外国人13名)
国際現代水彩画秀作展（4,300名来場）
- ・主催：2006 国際水彩画大会 in Niigata 実行委員会

(4) 「聞いてみよう！国際協力ボランティアの話 '06」

- ・日にち：8月19日（土）
- ・会場：県国際交流プラザ
- ・内容：青年海外協力隊員等の活動体験談発表及びパネルトーク等
- ・参加者：50名
- ・主催：JICA広尾センター

(5) 「第5回にいがた国際協カタウンミーティング」

- ・日にち：2月24日（土）
- ・会場：朱鷺メッセ
- ・内容：国際協力・交流関係者タウンミーティングを行った。
- ・参加者：150名
- ・主催：JICA

6. 国旗等貸出 104,135 円

地域における国際理解や友好親善を支援するため、世界各国の国旗を整備し、国際交流活動を行う賛助会員や諸団体への貸出しを行った。

①貸出実績

- ・貸出件数（イベント数） 80 件
- ・利用団体数 39 団体

②国旗保有状況（平成 19 年 3 月末現在）

- ・卓上旗 194 か国・地域等
- ・屋内掲揚 179 か国・地域等
- ・屋外掲揚 87 か国・地域等

4 多文化共生事業 13,718,112 円

1. 日本語講座 540,754 円

外国籍住民の増加に伴い必要性が増してきている地域の日本語教育をサポートする講座等を実施した。

(1) 外国籍親子日本語教室モデル事業

日本語学習支援体制の整っていない地域にて、日本語学習の支援者養成講座と日本語教室を開設するモデル事業を五泉市国際交流協会へ委託した。

○受講者

- ・養成講座：30名
- ・日本語講座：10名（うち在住外国人9名、ご家族1名）

(2) 新潟大学国際センターとの共催セミナー

①多文化共生へ向けたスタッフ研修会

- ・日にち：12月19日（火）
- ・会場：新潟大学 五十嵐キャンパス総合教育研究棟 会議室
- ・参加者：50名（行政・民間の関係者）
- ・内容：全県レベルでの多文化共生についての理解促進のための啓発セミナー
- ・講師：結城恵（群馬大学教育学部 助教授）

②日本語ボランティアリーダー研修

- ・日にち：3月10日（土）・11日（日）（1泊2日の合宿）
- ・会場：協会研修室
- ・参加者：23名（うち在住外国人11名）
- ・内容：新大留学生など県内在住外国籍の方とともに互いの言語や文化についての理解と県内の日本語ボランティアグループの情報交換
- ・講師：松岡洋子（岩手大学 助教授）

足立祐子（新潟大学国際センター 助教授）

2. 国際理解推進講座 10,962,348 円

県民の国際交流・国際協力に関する理解促進のため、市町村国際交流協会、NGO、大学及び国際協力機構（JICA）等と連携しセミナー等を実施した。

(1) 多文化共生セミナー等

①教員を対象とした国際理解教育セミナー（共催：JICA）

ア. 内容

- ・ワークショップ：平和を築く学びを考えよう

講師：羽賀友信（長岡市国際交流センター長）ほか

- ・セミナー：ハンナのかぼんと杉原千畝

講師：石岡史子（NPO法人ホロコースト教育資料センター代表）

イ. 日にち、会場、参加者

- ・上越会場：7月27日（木） ワークパル上越 18名
- ・長岡会場：7月28日（金） 長岡市民センター 16名
- ・新潟会場：7月29日（土） 県国際交流プラザ 42名

②青少年のための国際理解促進事業（主催：新潟マダガスカル友の会）

ア. 講演会「開発途上国との係わりー魅惑の島マダガスカルの現場から」

- ・日にち：4月7日（金）
- ・会場：新潟青陵大学短期大学部
- ・講師：浦田あゆみ（元JICAマダガスカル企画調査員）
- ・参加者：40名

イ. 講演会「発展のためのマダガスカルの行動計画」

- ・日にち：10月27日（金）
- ・会場：新潟大学 五十嵐キャンパス

- ・講師：ジョスラン・ラディフェラ（駐日マダガスカル特命全権大使）

- ・参加者：60名（うち留学生15名）

ウ．国際理解教育授業

- ・日にち：10月26日（木）

- ・会場：県立燕中等教育学校

- ・講師：ジョスラン・ラディフェラ（駐日マダガスカル特命全権大使）

- ・参加者：同校生徒166名

③青少年国際理解教育促進事業

（主催：財団法人エイ．エフ．エス日本協会新潟支部）

ア．中・高校生のための国際理解セミナー

5月～8月に中・高校生を対象とする5回の連続講座を実施した。

- ・テーマ：①日本で暮らす外国の人に聞いてみよう

- ②高校生留学

- ③いろいろな国際交流活動

- ④平和について考える

- ⑤留学生と遊ぼう

- ・参加者：延べ131名（うち高校留学生42名）

イ．国際理解授業等への留学生派遣事業

- ・派遣回数：10回

- ・派遣人数：延べ71名

④国際ワークキャンプ南魚沼2006（主催：国際ワークキャンプ南魚沼2006）

- ・期間：9月13日（水）～9月24日（日）

- ・会場：南魚沼市巻機山 ほか

- ・内容：巻機山にて自然保護のためのボランティア活動（参加者：12名、うち外国人6名）

上田小学校、及び塩沢中学校にて国際交流活動、及びボランテ

ィア活動報告等（参加者：児童・生徒 311 名）

⑤ **アジア映画鑑賞会（主催：上越国際交流協会）**

- ・日にち：2月23日（金）
- ・会場：J MAXシアター（上越市）
- ・参加者：100名
- ・内容：講演「日韓の文化事情」
- ・講師：釜田聡（上越教育大学 助教授）
- ・映画上映：「あなたを忘れない」（韓国映画）

⑥ **アートを使った国際理解教育事業（共催：上越国際交流協会）**

- ・協力校：延べ9校（上越地域の小・中・高等学校及び上越教育学校）
- ・アート作品展示：2月26日（月）～3月4日（日）
- ・展示場所：上越市民プラザ
- ・内容：国際理解・親善・交流・平和への思いをアート作品にまとめた。

(2) **プラザ講座**

県国際交流プラザにて、小・中・高校生等を対象に国際理解講座を実施した。

①参加学校数：小学校：4校、中学校：12校、高等学校：1校

②参加者数：495名

(3) **県国際理解教育推進協議会**

小・中・高校生及び教員を対象とする全県域的な事業を実施するため、行政、関係機関等から成る推進協議会を運営した。

(4) **ユース・プログラム**

若者を対象とする全県域的、先導的、かつ他機関との連携による国際理解推進事業を実施した。

① NGO&大学と連携したユース育成事業

ア. ふれあい基金を活用した国際理解教育事業（新潟大学へ委託）

大学とふれあい基金助成NGOと協働のうえ、学生を中心に同基金をテーマとした国際理解教育指導案についての研究会を発足し、小・中学校の研究モデル校にて実施、活用ガイドを作成した。

a. NGOセミナーの開催（4回）

- ・参加者：大学生約150名、一般約10名
- ・テーマ：①直江津捕虜収容所と新潟捕虜収容所の比較
 - ②平和をつくりだそう、小さな手で
 - ③パレスチナ難民生活の子ども達
 - ④新潟・国際協力ふれあい基金助成によるNGO活動の意義について考える

b. 研究会の設置（大学研究室の活動として設置）

- ・構成員：アドバイザー：2名 宮菌衛、児玉康弘
（新潟大学教育人間科学部 教授）
教員：3名（同学部大学院生）、学生：15名
今野正敏（(特活)新潟県日中友好協会 事務局長）

c. スタディツアーの実施

ふれあい基金助成団体の協力のもと、同プロジェクトの視察を含み、中国黒龍江省にて実施した。

- ・協力団体：(特活)新潟県日中友好協会

〔 中国黒龍江省白音諾勒(ばいぬる)村小学校教育条件改善協力事業
(H15助成決定、H16～H18の3か年継続事業) 〕

d. モデル授業の実施

大学生により、小学校、中学校、中等教育学校、高等学校のそれぞれ1校にて実施

e. 活用ガイドの作成

小・中・高等学校別の指導案による活用ガイドを作成し、全県の小・中・高等学校等へ配布する予定。

イ. 国際交流インストラクター養成事業（新潟国際情報大学へ委託）

大学生をインストラクターに養成し、小・中・高校生などを対象とした国際協力への理解を深めるためのワークショップを行なった。

a. インストラクター養成研修

28名のボランティア学生の参加を得て実施した。

・アドバイザー:佐々木寛助教授（全体プログラム監督）

ほかに、同大学（助）教授6名の協力が得られた。

b. ワークショップの内容

学生がアドバイザーの指導のもと、90分の国際協力への理解を深めるためのワークショップを考案した。

c. ワークショップの実施

・県国際交流プラザにて、夏休み期間中に保護者と子ども対象に5回実施した。（各回約20名参加）

・県内の小・中・高等学校等にて実施校を公募した結果、23校の応募があったうち、10校にて実施した。

d. 評価会議の実施

アドバイザーと実施校の担当教員により、ワークショップを来年度

へ継続かつレベルアップするうえでの貴重な意見をいただいた。

② NPOと連携したユース・インフォメーションコーナー設置事業 (うちのスペース新潟へ委託)

県国際交流プラザ内に、「ユースインフォメーションスペース」と呼称するコーナーを設置し、若者を対象とした国際交流・国際協力等に関する情報提供と、イベント（セミナー、トーク、展示など）による若者の交流・表現の場として、積極的に活用した。

ア. オープニングイベントの開催

- ・日にち：9月2日（土）
- ・場所：朱鷺メッセ
- ・参加者：80名
- ・記念講演1：フランスの青年インフォメーションセンターについて
- ・講師：エリック・バルター（フランス・ロワール地方「青年インフォメーションセンター」副部長）
- ・記念講演2：わたしを変えた留学生との触れあい
- ・講師：渡辺まさし（魚沼国際交流協会会員）
- ・若者ショートメッセージ：6名（うち在住外国人3名）

③国際理解教育プレゼンテーションコンテスト

学校での教科、「総合的な学習の時間」及びクラブ活動など、又は地域での活動などにおける国際理解をテーマとした学習の成果に関するプレゼンテーションコンテストを行なった。

ア. プレゼンテーションコンテスト

- ・応募数：「中学生部門」6チーム 「高校生部門」7チーム
- ・本選：12月16日（土）、朱鷺メッセにて実施

- ・ 最優秀賞：

「中学生部門」新潟大学教育人間科学部附属長岡中学校チーム

テーマ：「世界から見た日本」

「高校生部門」ボランティア同好会チーム（県立新潟工業高等学校）

テーマ：「新潟工業高校国際ボランティア活動～『車いす修理』を中心として～」

イ. スタディツアーの実施

最優秀賞チーム（各チーム 4 名、計 8 名）をスタディツアーへ派遣した。

- ・ 実施期間：3 月 26 日（月）～3 月 31 日（土）
- ・ 行き先：インド・ビジャカパトナム
- ・ 視察先：ふれあい基金助成プロジェクト視察
- ・ 協力団体：教育と環境の「爽」企画室（新潟市）

〔 助成プロジェクト：ストリートチルドレンホーム設立事業
(H15 後期・H17 前期・H18 後期助成) 〕

3. 外国人生活相談 2,000,310 円

在住外国人が抱える生活上の問題について、その解決をサポートするため相談業務を実施した。（新潟ヘルプの会へ委託）

(1) 相談業務

県国際交流プラザ内に相談コーナーを設け、電話及び窓口相談を日本語と外国語（英語、中国語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、タガログ語の 8 カ国語）にて実施した。

- ・ 相談件数：延べ 352 件

(2) 外国籍住民のための生活相談・スタッフ研修会

①新潟会場（第1回）

- ・テーマ：労働、「研修・技能実習生制度」についての学習を中心に、相談への対応を考える
- ・日にち：1月13日（土）
- ・会場：協会研修室
- ・参加者：15名

②新潟会場（第2回）

- ・テーマ：結婚・離婚を中心とした家族問題に関する相談への対応を考える
- ・日にち：2月24日（土）
- ・会場：協会研修室
- ・参加者：20名

③長岡会場

- ・テーマ：新潟会場に準ずる
- ・日にち：3月10日（土）
- ・会場：長岡市国際交流センター 会議室
- ・参加者：21名

4. 留学生支援 214,700円

下記の市町村協会が行う留学生生活用事業を支援するモデル事業を実施し、留学生への援助を県内に広めた。

- ・長岡市国際交流協会「地震時避難リーフレット作成事業 等」
- ・柏崎地域国際化協会「多言語ホームページ制作事業」
- ・上越国際交流協会「多言語ホームページによる情報提供事業」

5 国際協力促進事業 5,886,223 円

1. 新潟・国際協力ふれあい基金 5,086,233 円

(1) 支援助成

海外で県内NGO又は個人が行う人道援助活動等に対し助成金を交付した。

○助成実績：6件(申請 6件) 4,982 千円

(2) 基金運営

①審査委員会の運営

ふれあい基金事業の審査等を行う審査委員会を開催した。(委員：5名)

②募金活動

広く県民からふれあい基金への寄附を募るとともにふれあい基金事業の周知を図るため、市町村役場、県内各地の日帰り温泉施設、及び宿泊施設等に常設している募金箱により、募金活動を実施した。

③募金実績

(単位：円)

	15年度	16年度	17年度	18年度
募金額	492,704	259,325	383,544	281,656
累計	12,961,224	13,220,549	13,604,093	13,885,749

2. NGO育成支援・国際協力啓発 800,000 円

県内のNGOを育成支援する目的で、にいがたNGOネットワークへ以下の業務を委託した。(平成16年度～18年度継続事業)

(1) 国際理解教育の教材制作

学校等での国際理解教育に活用するために、フィリピン、インドネシア、タイの3か国について、それぞれの国の物品等とその使用解説書等から成るボックスを作成した。

(2) グループリーダー研修

国際交流の担い手である県内民間団体のレベルアップ、人材育成を図るとともに、団体相互の情報交換促進のため、研修会を開催した。

①日にち、会場、参加者

- ・11月12日（土）ソレイユ三条（三条市）18名
- ・11月23日（水・祝日）新発田市生涯学習センター（新発田市）28名
- ・2月4日（土）柏崎市民プラザ（柏崎市）20名
- ・3月4日（土）長岡市坂之上コミュニティセンター（長岡市）50名

②内容

- ・テーマ：日本語コミュニケーションのコツ等
- ・講師：松尾恭子（(社)国際日本語普及協会(AJALT)所属講師)